

# リスクマネジメント

## リスクの評価

社内外の経営環境の変化からリスクとなりうることを「各リスクの経営への影響の大きさ」と、「マネジメントコントロール度」の2軸で評価し、対応すべきリスクを選定しています。社内・社外両面からモニタリングを行い、状況変化に応じたリスクの重要性を適時評価し、機敏にリスクに向き合うように努めています。

### 全社主要リスク

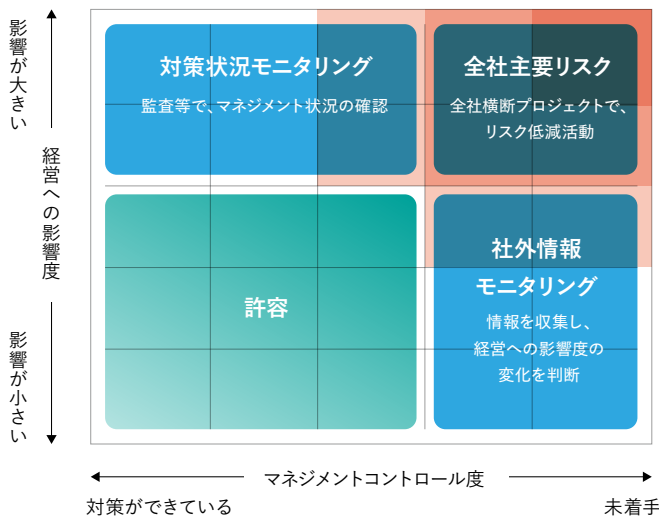
経営への影響度が大きいにも関わらずマネジメントコントロールが不十分なリスクは、全社横断的なプロジェクトにより、最優先でリスク低減に努めています。

### 対策状況モニタリング

活動を通じて対策が効果を上げマネジメントコントロール度が高まったとしても依然として経営の影響度が大きい場合は、その後の対策状況を監査などにより確認しています。

### 社外情報モニタリング

その時点では経営への影響度が小さく経営課題とならないリスクにおいても、対策ができていないリスクは感度高く社外情報の収集、モニタリングに努めています。



## リスクマネジメント体制

キューピーグループでは、経営の継続的、安定的発展に影響しかねない事象をリスクと認識し、リスクマネジメントの実践を通じ、内部統制システムの充実に取り組んでいます。個々のリスクを各担当部門が継続的に監視するとともに、全社的なリスクはリスクマネジメント委員会<sup>※</sup>で情報を共有し、そのリスクを評価、優先順位および対応策の効果などを総括的に管理し、特に下記の9つを主要なリスクに位置づけて抑制・回避に努めています。



これら全社的なリスクの評価や対応の方針・状況などについては、リスクマネジメント担当取締役が定期的に取り締役員へ報告しています。

<sup>※</sup>リスクマネジメント委員会は、キューピー(株)経営会議メンバーおよび主要本部・主要子会社の代表者より構成しており、キューピーグループのリスクマネジメントに関する最高意思決定機関であり、委員会を年3回開催しています。  
<sup>※</sup>地球環境問題、気候変動については、サステナビリティ委員会で対応しています。

## TOPICS

### ランサムウェア<sup>※</sup>リスクへの対応

近年、国内外でランサムウェアによる企業への攻撃が増加しており、キューピーグループでもリスクの認識を高め、対応を講じています。

緊急時を想定し、攻撃を受けた際に対応できる環境構築を進めています。ハード面の強化策として、全PC、全サーバに対しマルウェア対策を進めるとともに、ソフト面の強化策では、全従業員に対し継続的な社内教育プログラムの実施、および攻撃メールの模擬訓練を実施するなど、従業員へのセキュリティ認識向上にも取り組んでいます。

<sup>※</sup>感染すると端末などに保存されているデータを暗号化して使用できない状態にしたうえで、搾取データ開示の脅しだけでなく、復号する対価として金銭を要求する不正プログラム



左 株式会社トウ・ソリューションズ IT企画室 佐々木 徹也  
 右 キューピー株式会社 IT推進部 安東 洋一